《第15回　全国修学旅行研究大会　議事次第》

1．開会の言葉　㈶全国修学旅行研究協会　専務理事　前田　寛
2．主催者挨拶　関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会　会長　井上昭男
㈶全国修学旅行研究協会　理事長　谷合良治
3．来賓祝辞　兵庫県教育委員会、西宮市教育委員会
4．研究発表　(1)大阪府堺市立浜寺南中学校　教諭　寺田孝志
(2)兵庫県西宮市立山口中学校　教諭　鶴山実紀子
5．研究協議　研究協議座長
滋賀県彦根市立彦根中学校長　新谷紀久男
大阪府富田林市立明治池中学校長　東野雅巳
6．指導講評　兵庫県教育委員会　指導主事　東智之先生
7．講演　東京家政学院大学　教授　成田國英先生
8．閉会の言葉　近畿地区公立中学校修学旅行委員会副会長　中井泰一郎

「体験を重視し、生きる力を育成する修学旅行」

第15回 全国修学旅行研究大会〈研究発表要旨〉平成10年10月20日㈮

開催地：兵庫県西宮市

講演（要旨）「教育課程改訂と修学旅行」

東京家政学院大学教授（元文部省教科調査官）　成田國英先生

生きる力と修学旅行の課題

1　知育からの転換を
・偏重学力の発想の転換
・指導要録改訂の考え方の再確認
・修学旅行を通した体験による総合化された生きる力が大切

2　国際化・情報化、環境問題への対応の中で
・教室での知的理解の限界
・修学旅行を通しての環境保全体験学習
生きる力を全人的な視点からとらえる
・自分で様々な力を総合する能力
・現地での見聞・体験によって培われるもの

これまでの修学旅行の実践の再確認と整理

1　特別活動へのしわよせ
・その中で、修学旅行の意義の再確認
・人間関係の希薄さ・未熟さへの対応

2　新たな視点
・子どもはすでに激しく活動的な存在
・余り多くのことを教えることなかれ、教えるべきことは徹底的に教えよ

研究発表（要旨）1「生徒の自主性を生かす修学旅行」―「実行委員会」活動を中心に―

大阪府堺市立浜寺南中学校教諭　寺田孝志

本校は、堺市の西南に位置し、高石市と隣接する。本年で開校五年目を迎える堺市で一番新しい学校である。新設校では、何もかも一から作っていかなければならない。その労力は多大なものだったが、その分、伝統校には見られない活気が漂っていた。堺市で最初の沖縄への修学旅行も、このような中で計画された。

一、実行委員会活動

沖縄への修学旅行を実施した四期生は、小学校で荒れを経験した生徒を多数含む学年であった。この生徒達を受け入れるにあたり、力ではなく、対話を基本にした生徒指導を徹底して行うことを確認した。その最も大きい柱が生徒の自主性を養い、リーダーを育成することであり、その為に、各行事で実行委員会を設置し、生徒の活動の場を増やしていった。生徒の方も、入学当初は、戸惑いがあったが、校外学習、体育大会、文化活動発表会などの行事を実行委員会形式で行っているうちに、しだいに慣れてきて、行事は実行委員が行うものだと言う意識が生まれてきた。これらの実行委員会は、クラス単位の募集ではなく、やりたい生徒が全員実行委員となることを原則とし、生徒のやる気を出来る限り、汲み取るようにした。

二、修学旅行実行委員会

修学旅行の実行委員会活動は次のようにして行った。

① 修学旅行実行委員会
各委員会の班長・副班長で構成し、全般的な事柄の決定、しおりの作成にあたる。

② 平和学習委員会
平和学習の事前学習の準備、運営。修学旅行での平和セレモニーの司会進行を行う。

③ 歴史・自然学習委員会
歴史学習班・自然学習班に分かれて、それぞれの分野で事前学習の準備、運営を行う。

④ 持ち物・規律委員会
修学旅行での持ち物とルールの決定を行う。

⑤ レクレーション委員会
バス内レクレーション班と全体レクレーション班に分かれて活動した。

以上の委員会を中心に修学旅行の準備を進めていった。

三、修学旅行の成果

前述のような委員会活動を修学旅行の核としておこなった。この委員会には教師も分担して所属し、生徒と一緒になって活動を続けた。その結果、生徒と教師の心の距離が近づき、共に沖縄の修学旅行の成功に向けて、協力し合う仲間のような意識が生まれてきた。

また、修学旅行で生まれた生徒と教師の連帯感がその後も続き、和やかな雰囲気の中で卒業していった。それは、入学の時点では想像し難いことであった。

四、おわりに

修学旅行は、生徒が最も楽しみにしている学校行事である。だからこそ、修学旅行を学年の中心に据え、様様な行事と連結させ、生徒の自主性を重んじた学年作りをすることには、大きな教育的意義がある。四期生との三年間は、まさにそのことを教えられた三年間であった。

㈶全修協秋田県支部長に　川村豊太氏

財団法人全国修学旅行研究協会秋田県支部長に、十一月一日付で川村豊太氏が就任した。

同氏は、秋田大学学芸学部を卒業、昭和三十九年四月から山本郡・男鹿市秋田市の小・中学校教諭を経て五十八年四月から県教組役員を歴任、本年五月県学校生活協同組合理事長に就任、現在に至る。

研究発表（要旨）2「ウォークラリーから始めた修学旅行班別行動への試み」

兵庫県西宮市山口中学校　教諭　鶴山実紀子

山口中学校は西宮市の最北、六甲山のウラに位置するが、ここ数年で市内一の小規模校から市内第二の生徒数を擁する学校に変貌した。

したがって、ほとんどが転校生で一人ひとりの付き合いも浅く、お互いに深く関わらないような気風がある。そこで、そういう人間関係の耕しの場としての学年・学級の組織づくりを考えるとともに、それを鍛える修学旅行を終着点としての三年間の行事を考え、実践した。

一、統一した組織づくり

本校には、従来から専門委員会以外には、学年、学級間に統一した組織がなかったので、班を基本に一人一役の係を作り、日常生活および行事の時、活用した。

二、行事を積み上げる

①一年校区内ウォークラリー

校区内が幾つかの地域に離れて別れて存在しているから、地域内の行き来はあっても地域間はあまり交流せず、馴染みがないので、ここを舞台にできたての班および班長を鍛える意味で、実践した。（事前に各クラスの班長だけで校舎内ウォークラリーをしてコマ地図の見方に慣らし、班長としての自覚作りをした。）一からのコマ地図作りは、多くの労力を要したが、結果(1)自分たちの土地を半日話題にすることで親近感を持てた。(2)班で行動することに慣れた。(3)班長がリーダーシップをとる練習ができた。(4)班員同士の協力を学んだ。

②一年校外学習（出石）

班行動で、予め計画した所を回り時間どおり集合する、おやつに土地の名物を味わって旅の楽しさにも触れるという目標を達成した。

③二年転地学習（湖東方面）

琵琶湖の近く、近江八幡に二泊三日し班別行動を中心に活動した。行動範囲を広げ、安土・長浜・彦根・近江八幡をJRやバスで回るという初めての交通機関を使った試みだったが大過なく、ほぼ時間どおり帰着できた。

三、修学旅行の班別行動

〈見学場所〉長野・明科・穂高・上諏訪・下諏訪・茅野・松本駅を下車して時間内に体験、見学可能な施設。

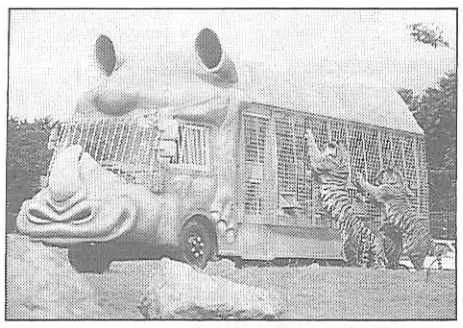
事前に綿密な計画を立て、体験学習（ソバ打ち・ワサビづけ作り・マスつり・ガラス細工・ハーブ細工・乗馬）も自分たちで予約し、乗る必要のある班はタクシーも個々に交渉させた。

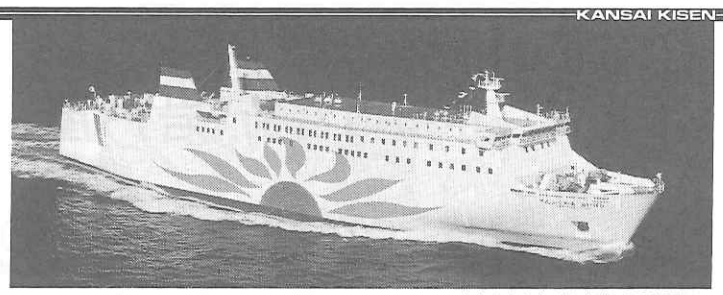
ボートに乗る、温泉クアハウスに行く、温泉プールで泳ぐ、善光寺見物に行く、バラエティに富んだ行動を十時間内に知恵をしぼって盛り込み、全班無事に帰館した。

四、おわりに

一年生のウォークラリーを土台にして、四回目。広範囲を移動してほぼ時間どおり班で行動できたのも経験のなせる業だ。自分たちで計画実践する手ごたえのある修学旅行を願って三年前にスタートした試みに一定の成果が得られたとは思うが、今後の学校週五日制にむけて多くの時間と労力を要せざるを得ないこの三年間の行事に対しての取り組み時間を、どのように確保していくか、これからの新たな課題である。

スペースキャンプ
SPACE CAMP JAPAN
宇宙を遊ぶ。宇宙に学ぶ。
スペースキャンプは、アメリカ、スペースキャンプ財団とのライセンス契約によって誕生した日本で唯一の本格的宇宙体験施設です。
インストラクターが全カリキュラムをサポートいたします
© SPACE WORLD,INC.
スペースワールド®
インフォメーションセンター TEL093-672-3600
団体予約センター TEL093-672-3400
〒805-0002 北九州市八幡東区スペースワールド

動物たちとふれあいながら楽しく学ぶ。

ジャングルバスチャーター料金1台17,000円（通常21,000円・定員30～35名）
●営業受付時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金（消費税含む）
高校生 1,200円　中学生 900円
小学生 800円
※ガイドラジオ　バス1台につき1,100円
九州自然動物公園
アフリカンサファリ
〒872-0722 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
TEL(0978)48-2331㈹　FAX(0978)48-2330

KANSAI KISEN

さんふらわあ あいぼり 9,300トン
直行便：大阪南港 ⇄ 別府
松山寄港便：大阪南港・神戸 ⇄ 松山 ⇄ 別府
関西汽船
大阪支社　大阪市港区弁天6-7-15　☎(06) 574-8500
東京駐在　東京都中央区八重洲1-9-9　☎(03)3274-4273

環境学習旅行ガイド④

大地のエネルギー、そして自然との共生
「雲仙・島原」

《雲仙・島原の概要》

雲仙は我が国で最初に指定された国立公園のひとつです。この風光明媚な島原半島の中央にそびえる雲仙普賢岳が噴火したのは一九九〇（平成二）年のことでした。

あれから八年、現在では火山活動も鎮静し、復興活動も順調に進展し、人々の生活も落ちつきを取り戻し、観光客も往時に戻りつつあります。

修学旅行で環境学習を学ぶには、この雲仙・島原地区はまさに最良の適地です。大地のエネルギー、自然との共生・保護、島原の歴史・文化と環境学習素材に恵まれています。

この学習素材をベースとした学習プログラムを以下に紹介します。

《学習のポイント》

◎ **生きている地球（自然との共生）**

一九九〇年の雲仙普賢岳の噴火は周辺地形を一変させ、有明海に面した島原市・深江町の人々に火砕流・土石流による多大の災害を与えました。

火山活動が沈静化した現在、普賢岳への監視活動は依然として継続されている一方、復興に向けて人々は精力的な街づくり活動を進めています。

ここでの学習のポイントは、普賢岳噴火の生々しい映像と溶岩ドーム見学、更に水無川流域の土石流に埋もれた家屋の見学で構成されています。

学習のまとめとして、被害を受けた方々から実体験に則した話を直接聞き、自然環境と暮らし、地域の特色、自然との共生について理解を深めます。

◎ **雲仙に花と緑を**

普賢岳の火山活動により多くの草花や樹木が火砕流・土石流の被害を受けました。この雲仙に再び自然の美しさを取り戻すため、修学旅行でこの地を訪れる生徒達も協力します。雲仙の代表的草花「ミヤマキリシマ」の苗木を生徒達が一本一本心を込めて植樹します。

この体験を通じて、雲仙の自然の豊かさ・大切さを理解し、その再生に参加する意義を確認します。

◎ **雲仙の自然観察**

我が国で最初に指定された国立公園である雲仙は、自然の動植物観察にとっても最適地です。

雲仙の四季、火山活動の現況、雲仙に生育する動植物についてビデオや標本を見ながら学習した後、山のガイドと共に雲仙の自然の中を歩き実際に動植物に接しながら観察し、自然環境について理解を深めます。

◎ **島原の湧き水と町並み**

島原市は昔から湧き水豊かな「水の都」と言われてきました。

湧き水と江戸時代の噴火の関係、藩政時代以来の島原の歴史と文化など、自然の人間、生活の営みについて、武家屋敷の水路や「鯉の泳ぐ町」などを散策しながら、学びます。

《問い合わせ先》

近旅連教育旅行部会
九州ブロック雲仙・島原地区会
代表　雲仙新湯旅館
TEL　〇九五七―七三―三三〇一

鎌倉花ある記（8）

ツワブキ（安養院）

安養院は祇園山長楽寺安養院と号し、浄土宗名越派の寺。一時京都知恩院の末となったこともある。

嘉禄元年（一二二五）三月、北条政子が夫源頼朝の菩提を弔うため、笹目ヶ谷に律宗の長楽寺を建立したが、元弘三年（一三三三）ここが兵火で焼失したので、大町の善導寺（浄土宗）跡に移して再建し、政子の法名である安養院を称した。この時に浄土宗名越派の本山となったものと伝える。

この安養院も、延宝八年（一六八〇）に火災で全焼し復興に際して、比企ヶ谷にあった政子ゆかりの田代観音堂を移して本堂とした。

関東三十三観音霊場第三番札所となっている。

本堂裏手に徳治三年（一三〇八）七月の銘のある宝篋印塔がある。鎌倉に現存する最古のもので、国の重要文化財に指定されている。

山門前右手の寺歴を記した高札を囲むように、石蕗が小春日和の日だまりにあざやかな黄色い花を浮き立たせていた。

（十一月十七日取材）

大和路遍歴（20）
――法隆寺（下）――

法隆寺では、新しい**大宝蔵院**が十一月一日から公開され、連日多くの修学旅行生や一般客で賑わっている。

大宝蔵院は、宝形造、白鳳建築の様式で、二年半の歳月を費やして完成された。百済観音堂を中心に東西の展示室が回廊で結ばれている。

西展示室から入る。国宝の玉虫厨子、地蔵立像、九面観音像などとともに多くの重文像が並び太子コーナーとして、聖徳太子像が二歳像から摂政像までまとめられた。

新大宝蔵百済観音堂

夢殿絵殿の本尊である国宝夢違観音も西展示室に収められた。白鳳時代の秀作だといわれ、八十七センチという小さな像とその童顔は見る人を魅了する。「疑念なき人なつっこさ」と高村光太郎は述べたが、新大宝蔵院に処を得てひときわ輝いて見える。

……虚空像菩薩、百済国より渡来、但し天竺像なり。

回廊には百済観音像の年表が掲げられている。江戸時代以前の文献にはなく、元禄十一年（一六九八）の「元禄諸堂仏体数量記」が最初である。

そして百済観音像は、長い流浪のあと、遂に安住の地として新大宝蔵院の中心に落着いた。

東展示室には、伎楽面・舞楽面や、飛天図・曼荼羅などの絵画が並ぶ。飛天図（重文）は、金堂の火災時、たまたま取りはずされていて難を免れた貴重な壁画だ。また、伝橘夫人念持仏である阿弥陀三尊像は、白鳳期金銅仏の代表的なものである。厨子とともに国宝に指定されている。

……三重の小塔一百万基を造らしむ。（中略）是に至りて功畢りて諸寺に分ち置く。

（続日本紀）

称徳天皇が国家鎮護と死者の供養のために、十大寺に十万基ずつ分置された百万塔が出口近くに安置されている。現在法隆寺のみに残され、約四万五千七百基あるという。神護景雲四年（七七〇）、四月二十六日に完成したと続日本紀は伝える。

新大宝蔵院をあとに、国宝東大門を抜けて夢殿に向かう。

……大僧都法師位行信、観斯荒墟、流涕感歎、遂以秦聞春宮方。

（法隆寺東院縁起）

六四三年、山背大兄王以下太子一族の滅亡とともに焼失した斑鳩宮は、天平十一年（七三九）、行信僧都による上宮王院（東院）の造営で復興された。縁起は、荒廃した斑鳩宮に涙し、太子の冥福を祈る行信の心を伝えている。

東院は、**夢殿**を中心に、南に礼堂、北に絵殿・舎利殿があり、回廊で結ばれている。

……八角円堂安置太子在世所造御影救世観音像。

東院縁起は、夢殿の本尊救世観音像は「太子の現し身」だと述べる。また高村光太郎は、「古今に絶する唯一無二の霊像」と表現した。

高さ一八〇センチ、飛鳥随一の火炎透かし彫の宝冠をいただいた観音像は、クスノキの一木造で、面長の顔など、その特徴は北魏様式を示したものといわれる。

十二世紀にはすでに秘仏として厨子に安置されたと伝えられるが、明治十七年（一八八四）、フェノロサや岡倉天心による調査で扉が開かれるまで世に出ることはなかった。毎年、春・秋に公開されている。

……二に曰く。篤く三宝を敬へ。三宝とは仏法僧なり。

（日本書紀）

夢殿は、聖徳太子が斑鳩宮で瞑想に耽った建物の名だと伝えられる。八角円堂の頂には宝珠が輝く。内部には、救世観音を納める厨子のほか、行信僧都像と、平安時代の中興の道詮律師像が、太子を見守る。

回廊にある礼堂は夢殿礼拝のもので、舎利殿は仏舎利を安置し、絵殿には太子一代の事蹟を描いた太子絵伝がある。

絵殿北側の伝法堂は、東院の講堂で、天平時代の住宅遺構として貴重な堂舎だが、標示もなく、非公開なので、存在に気付く人は少ない。

……和ぎをたふとしとせし　うまやどの　皇子のみことは　いまし仰がな

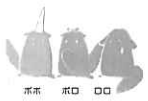
（吉野秀雄）

東院南門前には大黒屋という小さな旅館がある。高浜虚子、志賀直哉ら文士たちがよく泊った処だ。時代は変わったが、今も当時の面影を残している。

（全修協大阪・北條直樹）

東院夢殿（修学旅行生）

ホテルポポロ東京
近畿日本ツーリストが自信を持って送り出す。
ユニークで新しいタイプのホテル…
それが『ホテルポポロ東京』です。



ホテルポポロ東京のマスコットです。　ポポ　ポロ　ロロ

中庭『パティオ』

日本では珍しい地下4階中庭『パティオ』
見上げればそこには吹き抜けの空間。お食事は『パティオ』を望みながら大宴会場『エバンターユ』にて！
都心のホテルでは珍しい屋上『純和風大浴場』
ホテルにいて温泉旅館にいる様なそんな気分になれるお風呂です。

近畿日本ツーリストグループ
ホテル ポポロ東京
〒141-0031 東京都品川区西五反田6-13-1
Tel 03・3779・6100　Fax 03・3779・2070
インターネット　http://popolo.knt.co.jp/
Eメール　popolo@popolo.knt.co.jp

学びランド東北
自然や歴史・文化など、「体験学習の宝庫」東北。
日頃、体験できない"生きた学習"で、
個性溢れる夢を
たくさん咲かせてください。

東北地方修学旅行誘致実行委員会

青森県文化観光推進課	〒030-8570 青森市長島1丁目1-1	TEL.0177-22-1111
岩手県観光課	〒020-8570 盛岡市内丸10-1	TEL.019-651-3111
秋田県観光課	〒010-8570 秋田市山王4丁目1-1	TEL.018-860-2265
宮城県観光課	〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1	TEL.022-211-2743
山形県観光物産課	〒990-8570 山形市松波町2丁目8-1	TEL.023-630-2373
福島県観光課	〒960-8670 福島市杉妻町2-16	TEL.024-521-7287

福島県・スキー風景

美しくに　伊勢志摩
伊勢内宮前　岩戸屋　へ

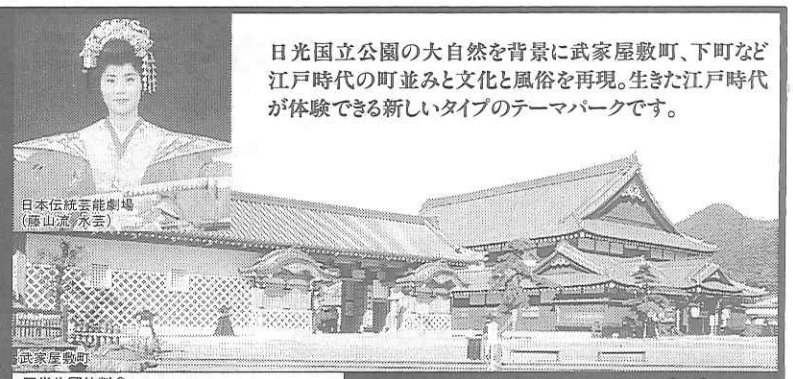
内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご休憩にご利用下さい。

おみやげコーナーは伊勢参拝記念の土産を豊富に販売致しております。

インターネット：http://www.mint.or.jp/iwatoya
E-Mail:iwatoya@mint.or.jp

伊勢市内宮前
岩戸屋
伊勢内宮前（〒516-0024）
TEL〈0596〉23―3188㈹
FAX〈0596〉28―1322

江戸時代を体験学習。



日光国立公園の大自然を背景に武家屋敷町、下町など江戸時代の町並みと文化と風俗を再現。生きた江戸時代が体験できる新しいタイプのテーマパークです。

■学生団体料金
「学修手形」は、劇場、体験館、展示館の全てに入場自由なお得なフリーパス券です。
●大学・短大・専門　2,000円
●中学・高校　1,600円
●小学生　1,300円
●幼稚園　1,000円

日光江戸村
0288(77)1777　栃木県塩谷郡藤原町 柄倉470-2